



津屋崎人形

工房でモマ笛の絵付けをする原田誠さん。津屋崎人形は、博多人形の流れをくむ土人形で、鮮やかな原色を用いるのが特徴の一つです。こねた粘土を型に詰め、重ね合わせる製法で作られます。半永久的に使うことのできる人形の型は、江戸時代のもも代々受け継がれ、現在でも新たな作品を生み出し続けています。

思い＊きりり

今月は津屋崎人形を制作する原田誠さん取材しました。

創

業240年の歴史がある筑前津屋崎人形工房の7代目原田誠さん。大学を卒業後、この道に入り、先代の手伝いをしながら見よう見まねで技を覚えていきました。45年以上、伝統の技を守ってきた原田さん。型に粘土を詰めるのも昔ながらの手詰め、明治時代から使っている窯を修繕しながら大切に使い続けています。原田さんは「これからも昔ながらの製法にこだわって作り続けたい。ただ、若い人にも興味を持ってもらえるよう、新しいものにも挑戦していきたい」と話してくれました。今は、長男の翔平さんが2年前から修行を始めていて、後継者として期待されています。

問い合わせ 筑前津屋崎人形工房 津屋崎3-14-1
☎52・0419

福津の極み



▲津屋崎人形を代表するモマ笛

SPRINT 50人
来店した先着50人に
津屋崎人形写真集
を無料進呈